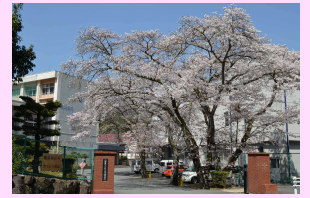




【三重県】

三重県立昴学園高等学校 インターアクト部

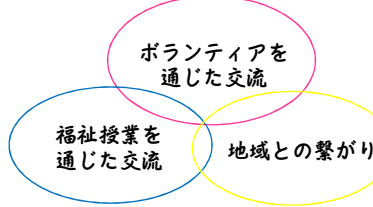
高校生ボランティア・アワード2021



【活動内容】

* 福祉授業とボランティアを通じた地域との交流*

インターアクト部では、様々な活動をしており、その中で自分たちが楽しく活動が出来るよう心がけている。楽しく活動をするために、部員みんなで何が出来るかを考え模索し、3つの活動を行っている。



《昴学園と大台町の魅力》

★昴学園の概要

大台町の豊かな自然に囲まれた公立の寮がある高校。本校の教育の特色は、大台山系の麗やかな自然のなかで、寮での集団生活と総合学科による少人数教育、さらには地域と結びついた活動を通して、自主性・自律性・協調性などを育みながら個性と能力を伸ばすことが出来る魅力の学校。



★自然と人びとが幸せに暮らすまち大台町

大台町は三重県の中部に位置し、約90kmに及ぶ県下最大の河川「宮川」が町内を横断し、総延長の3分の2が町を流れている。日本三大峡谷の一つである大杉峡谷がその境界。町の西部は1,000m級の山々に囲まれた純山村地域で、東部は、茶畑・田んぼが広がる農村地域。西部は吉野熊野国立公園に指定されており、町土の約90%以上を森林が占めている。国際連合教育科学文化機関の生活圏保護区(ユネスコエコパーク)に登録されている自然豊かな町。



自然が豊かな大台町を活性化させる力になるため、学校全体で様々な活動を行うとともに、インターアクト部でも、大台町の力になれないか考えている。多くの人への魅力ある大台町のこと、そして、昴学園も知ってもらいたいと思い、活動をしている。

「ボランティア活動を通じた交流」

松阪木綿で作成した商品の販売の販売を行い、売上金を盲導犬育成基金へ募金をしている。販売する商品は、全て手作りをし、得意不得意があるので、部員が協力しながら、買ってもらう方を想い、一つ一つ丁寧に作っている。

★宿泊施設での販売

年間を通じて、近隣の施設で、商品を置かせてもらい、販売をしている。

★校内文化祭

地域の方にも販売してもらえるため、地域の方との交流を図りながら、手浴や松阪木綿製品の販売と募金活動を行っている。

★地域祭りでのボランティア

・どんとこい大台まつり(大台町)
・氏郷祭り(松阪市)
商品の販売や募金活動や祭りの手伝いを行い、地域の方との交流をしている。



「地域との繋がり」

近隣の独居老人宅や福祉施設に訪問して、自分たちが作ったものをプレゼントをしたり、普段なかなか手の付けられない所の掃除等をして、交流をさせてもらっている。



★クリスマスプレゼント

クリスマスカードや松阪木綿で作った磁石やキーホルダーをプレゼントしている。昨年度は、福祉施設へ訪問させてもらい、直接手渡しさせてもらって、とても喜んでもらい、私たちが元気をもらった。



★清掃活動

学校周辺の清掃活動や独居老人宅・福祉施設に訪問し、清掃活動を行っている。ごみを探すが難しいくらい落ちていないので、この状態を継続して自然豊かな大台町を保てるように私たちが心がけている。



「福祉の授業を通じた活動」

インターアクト部に所属する全員が、福祉系として、初任者研修を取得するための勉強をしている。その授業の中でも、活動をしており、小学生や中学生に福祉について、知ってもらい、経験してもらえよう、学んだことを教える場があり、私たちが勉強もなっている。昨年度の交流活動は、中学生の交流授業しか出来ず、本年度も、交流は難しいが、こういった機会があれば、日頃の成果を生かせるように勉強して行きたい。



★ボランティア実習

夏休みに自宅近くの福祉施設でボランティア実習を行っている。普段お世話になっている施設ではない施設に伺わせてもらい、貴重な経験となっている。



★近隣小学校・中学校での交流授業

小学校へ訪問し、「車いす体験」を行っている。中学校へは、来校してもらい、「車いす体験」や「高齢者体験」を行っている。

★文化祭での手浴

文化祭では、手浴も行い、短時間の手浴ではあるが、喜んでもらい、地域の方も1対1でコミュニケーションがとれる機会になっている。昨年度は、出来なかったのですが、また行えるようになれると良いなと願っている。



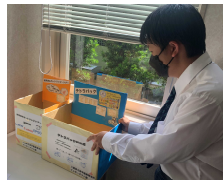
【今後の活動】

今年度も、松阪木綿で作成した商品の販売を中心に行い、売上金を募金したいと考えている。昨年度は、例年参加している行事が中止となってしまったため、今年こそ開催されるといいなと思っている。また、地域の方や独居老人宅や老人ホーム等との交流も可能な限り行っていきます。

昨年度、インターアクト部の活動は校内での活動が中心となり、そういった背景から、このコロナ禍の中でも何か取り組みたいと考え、今年度は新たな活動をしていきたいと考えた。このボランティアアワードへの参加も、自分たちの活動を知ってもらい、活動のモチベーションにしたいと思参加した。

【今年度の新たな取り組み】

インターアクト部が中心となり、学校全体と寮や大台町役場でベルマークの呼びかけ・回収を始めた。この回収を通じて、地域交流をしたいと考えており、この集まったベルマークの使い道は、福祉施設や大台町で役立てるものを購入したいと動き出した。



これから活動したいこと 3年 佐野

これからは地域との交流をもっと深めて行きたいです。コロナ禍で大台町や校内等での、様々な行事がなくなってしまったので、今行っている活動は継続し、また新しいことを考えて行きたいです。



プロフィール



三重県立昴学園高等学校では、2年生から5系列に分かれ授業をしています。その中の生活福祉系列で学ぶ、2・3年生がインターアクト部として活動しており、インターアクト部では、福祉を学ぶ仲間として、学年を越えて繋がり、自分たちも楽しみながら活動したいと思い、様々な活動をしています。

【部員数】
2年生→6人
3年生→11人

【活動日】
毎週、火曜日に活動しています。